

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

## 事業名【新】ヤングケアラー実態調査事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

子ども・女性部 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111(内3562)

E-mail : c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 7,409 千円 (前年度予算額： 0 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使 用 料 手数料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	7,409	4,739	0	0	0	0	0	0	2,670
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨（現状と課題）

家庭内のデリケートな問題であることなどから表面化しにくいヤングケアラーに関して、子ども・若者育成支援推進法が改正され、ヤングケアラーを関係機関等が支援に努めるべき対象として法律上明記された。改正には、支援対象をこども期からおおむね30歳未満の若者期までとする内容が盛り込まれた。県において、高校生世代及び若者世代の実態を把握するための調査を実施し、適切な支援に繋げるとともに、県民に向けて、ヤングケアラーに関する広報啓発を行い意識の醸成や正しい認識を行うことが重要である。

## (2) 事業内容

ヤングケアラーの支援体制を強化するため、高校生世代及び若者世代の実態調査を実施するとともに、ヤングケアラーに関する広報や実態調査実施に際して、正しい認識の啓発を行うための広報啓発を実施する。

### (3) 県負担・補助率の考え方

県1/3 国庫2/3、県1/2 国庫1/2

(児童虐待防止等対策総合支援事業費補助金)

### (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
委託料	7,409	実態調査費、広報啓発費
合計	7,409	

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

岐阜県社会的養育推進計画

第4章 社会的養育の推進に向けた取組

2 市町村のこども家庭支援体制の構築等に向けた県の取組

### (2) 国・他県の状況

国より、18歳以下の児童については、年1回程度の定期的な調査を求められている。若者世代については、県において実態調査を実施したうえで広域的な支援体制を構築することが望ましいとされている。

### (3) 事業主体及びその妥当性

実施主体：県

国の施行通知により、県において地域におけるヤングケアラーの把握から支援に繋ぐ支援体制を構築することが望ましいとされている。

# 事 業 評 価 調 書 (県単独補助金除く)

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

(事業目標)

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

(これまでの取組内容と成果)

令和 4 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 5 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和 6 年 度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

- 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)

3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない

(評価)	
------	--

- 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)

3：期待以上の成果あり

2：期待どおりの成果あり

1：期待どおりの成果が得られていない

0：ほとんど成果が得られていない

(評価)	
------	--

- 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか)

2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている

(評価)	
------	--

### (今後の課題)

- 事業が直面する課題や改善が必要な事項

若者世代に対する調査は今まで実施されておらず、支援ニーズの把握を行い、適切な支援体制の整備を図ることが必要。

### (次年度の方向性)

- 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

実態調査を実施し、各関係機関が連携し、ヤングケアラーを早期に発見して適切な支援を行うための広域的な支援体制の構築を検討する。

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など	

## 県単独補助金事業評価調書

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者（団体）	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R )	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	
(評価)	
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項
---------------------

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
--